

1 みんなたいせつ
世界人権宣言の絵本



- ① 東菜奈/構成・訳
渋谷敦志/写真
- ② 岩崎書店
- ③ 1700円
- ④ E

世界中の人々が健康で幸せな生活を送るために作られた「世界人権宣言」。

やさしい意識文と写真で、世界の人々の様子を知り、人権について考えることができます。

2 人間はだまされる
フェイクニュースを見分けるには



- ① 三浦準司/著
- ② 理論社
- ③ 1300円
- ④ 07ミ017

テレビ、新聞、インターネット……。SNSでの情報発信も身近になった私たちの生活には、毎日たくさんの情報にあふれています。正しい情報とは？真実とは？情報に振り回されないために、私たちにできることを教えてくれる一冊です。

3 脱・呪縛

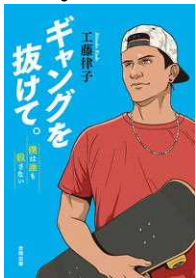


- ① 鎌田寛/著
こやまこいこ/絵
- ② 理論社
- ③ 1300円
- ④ 15カ018

「みんな、どんな時も、実は見えないナニかに縛られている。」からこそ知ってほしい「生きる意味」や「呪縛から脱する力」、さらに、多角的な視点を持つ大切さ。

これらについて、医師であり作家である著者が、自身の体験を交えながら、十代の読者に向けて語りかけます。

4 ギャングを抜けて。僕は誰も殺さない



- ① 工藤律子/著
- ② 合同出版
- ③ 1560円
- ④ 36ク018

南米ホンジュラスの貧しい地区で育った中学生のアンドレスは、ほかに選択肢のないままギャングの一員になりましたが、16歳の時殺人を命じられメキシコまで決死の覚悟で逃れました……。過酷な状況を生き延びた少年の実話です。

5 ヒマラヤに学校をつくる
カネなしコネなしの僕と、見捨てられた子どもたちの挑戦



- ① 吉岡大祐/著
- ② 旬報社
- ③ 1400円
- ④ 37ヨ018

ネパールへ渡った鍼灸師^{しんきゅう}が見たものは、夜空に輝く大きな星と、極度の貧困でも笑顔を失わない少女たちでした。

「学校で勉強したい」という子どもたちの夢を深く抱きしめ、全てを賭けて学校設立に挑んだ著者の20年の軌跡です。

6 先生、ウンチとれました
野生動物のウンチの中にある秘密



- ① 牛田一成/著
- ② さ・え・ら書房
- ③ 1400円
- ④ 48ウ019

腸内細菌……そこには様々な生命の秘密が隠れています。その腸内細菌を求めてアフリカへウンチ採集に赴く著者。ゴリラやゾウを何日も追ひ、採取したウンチは自分の体温で保温。危険も顧みず果敢に挑戦し、成功を収める著者の情熱は必読です。

7 心の病気ってなんだろう？



- ① 松本卓也/著
- ② 平凡社
- ③ 1400円
- ④ 49マ019

心の病気になった人は、実際にどんなふう感じているのか、また、どんなことで困っているのか……。この本では、「分かりにくい」「謎めいた」印象がある心の病気について一つ一つ取り上げながら、心の病気を少しでも「分かる」ことの重要性を具体的に紹介しています。

8 香りと歴史7つの物語



- ① 渡辺昌宏/著
- ② 岩波書店
- ③ 860円
- ④ 57ワ018

古代から現在に至るまで、いつの時代も多くの人々を魅了してきた「香り」でたどる7つの史話がつまった一冊です。楊貴妃やナポレオン、織田信長などにまつわる物語の中でも、特に薩摩の樟脳しょうのうがヨーロッパを席卷していたというエピソードがとても興味深いです。

9 それでも人のつもりかな



- ① 有島希音/作
流亜/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1500円
- ④ 91ア018

6年生のクラス内で嫌がらせを受け、隣の中学に入学することになった少女、亜梨沙。孤独な彼女は、唯一の家族である母親の愛さえも知りません。果たして彼女は新しい環境で希望に出会うことができるのでしょうか。一茶の句「ハンノキのそれでも花のつもりかな」が、全編に効果的に流れています。

10 羊の告解



- ① いとうみく/著
- ② 静山社
- ③ 1300円
- ④ 91イ019

朝目覚めたら父が殺人犯になっていた。状況を理解する暇もなく周平の日常が崩壊し、冷酷な現実が容赦なく突き刺さる。幸せのもろさ。善悪の矛盾。悩み苦しむ日々の中で最後に周平がつかんだものは……。生きる意味を示唆してくれる本です。

11 ローズさん



- ① 澤井美穂/作
中島梨絵/絵
- ② フレーベル館
- ③ 1400円
- ④ 91サ018

町に伝わる「ローズさん呪い」の都市伝説について音楽室で出会った幸志郎と一緒に調べ始めた中学生の惟。

人見知りの惟が、最後にたどり着いたローズさんの姿とは？やさしい物語の中にいろいろな示唆が含まれた作品です。

12 スベらない同盟



- ① にかいどう青/著
- ② 講談社
- ③ 1500円
- ④ 91ニ019

男女に人気者のレオは、教室になじめない転入生のケイト、文化祭で漫才をすることになります。ある日突然、クラスでの立場が変わってしまったレオ。漫才は発表できるのか……。クラス、部活を通して友情について問われる物語です。

13 むこう岸



- ① 安田夏菜/著
- ② 講談社
- ③ 1400円
- ④ 91ヤ018

有名私立中学についていけず公立中学に転校した和真は、生活保護家庭で病弱な母と暮らしている樹希と出会います。二人は次第にお互いの背景や悩みを少しずつ理解し、影響し合いながら成長していきます。知らないことからくる偏見や差別について考えさせられる一冊です。

14 ぼくがスカートをはく日



- ① エイミ・ポロンスキー/著
西田佳子/訳
まめふく/絵
- ② 学研プラス
- ③ 1500円
- ④ 93ホ018

周りのみんなには、きっと分かってもらえない12歳の「ぼく」の秘密……。それは、「女の子として生きたい」ということ。学校の演劇で、主役である女神の役に挑戦することを通して、自分らしく生きる道を選択しようとする、トランスジェンダーの少年の物語です。

15 ぼくたちは幽霊じゃない



- ① ファブリツィオ・ガッティ/作
関口英子/訳
- ② 岩波書店
- ③ 1700円
- ④ 97カ018

実際の体験を元に書かれ、イタリアの新聞に連載された物語です。

ヴィキは家族と、政情不安な国アルバニアからイタリアへと命がけで海を渡りました。様々な困難を乗り越えていくヴィキの生活から、不法移民の現実について考えます。